

医療法人 大西クリニック 有料老人ホームオリーブ

令和7年度事業計画書

I. 経営方針・概況

1. 基本方針（理念、私たちの姿勢）

○法人の理念

- 1）自分たちの仕事に誇りを持ち人格を高めるよう努力するとともに、医療・福祉のプロとして常に知識と技術の向上に努めます。
- 2）オリーブ利用者が快適な生活を送れるように、いつも心配りを忘れない
- 3）人生を楽しみ、いつも笑顔を忘れないようにします

2. 経営計画

（1）現状と方針

今後、介護・予防給付ともにかなりの需要が見込まれ、高齢者のニーズにあった介護サービス基盤の整備と人材の養成・確保の必要性を指摘しています。

介護保険制度改正により利用者の負担は増加し、事業者の経営環境も介護報酬の削減や人材不足の問題等、福祉を取り巻く環境は厳しさを増しています。本来、高齢者施設は「社会、地域における福祉の発展・充実」が使命であり、「公共性・公益性」の高い組織です。有料老人ホーム オリーブも自主事業と関係機関及び各種事業者と連携・協力し、地域の皆様の期待に応えられる様に努力していきます。

介護サービスの基本は人が人を支援することであり、そのためには利用者の求めるところを知ることと介護に携わる職員が能力を発揮できる環境を整えることが組織の役割です。これまで有料老人ホーム オリーブでは、考課による人材育成、全体研修、外部研修などを実施してきました。また、利用者の要望を受け付けたりしています。

更なる組織強化のため、職員一丸となり取り組みます。

（2）課題と目標

①安定したサービスの提供

利用者の尊厳に配慮し、安心で安全なサービスの提供に努めます。

- ・ 選択的サービスの充実を図ります。
- ・ 利用者の居住環境の整備を行います。

②経営効率化の推進

信頼性の高い経営の観点から、適切な財務管理及び会計処理を行います。

- ・ 無駄をなくします。
- ・ サービス水準を維持しつつ、効果的な人員配置に努めます。

③地域との共生

利用者・地域とのコミュニケーションを図り、積極的な情報開示を行います。

- ・ 情報公表やサービス評価の事業に取り組み、説明責任を果たします。

- ・ 相談窓口を設け、要望を受け付け改善に努めます。
- ・ ボランティア・実習生を受け入れ福祉人材の育成に寄与します。

④人材の確保と適切な人事

法人の持続的な発展を図るため、人材育成に努め、職員の自己実現を援助するとともに適切な労務管理を行います。

- ・ 安全で清潔な職場環境の整備を行います。

⑤組織統治の強化

社会的ルールの遵守を徹底し、公正で適切な経営を行える組織体制を構築します。

- ・ リスクマネジメント体制を強化します。
- ・ 関係法令や法人の理念に即した経営を行います。

3. 令和7年度経営計画

サービスの質の向上・危機管理体制の確立

「目的を明確にし、職員が考え、実行していく仕組みづくり」

（研修）

- ・ 日常業務を含めたあらゆる場面を研修の機会としてとらえ、職員の教育・育成に結びつけていきます。
- ・ 施設単位で実施される研修について情報の集約及び共有を図り、その内容を充実させていきます。

（リスクマネジメント）

- ・ 利用者の安全を最大の眼目とし、リスクの分析・事故防止対策を実践する仕組みづくりをします。

（苦情対応処理）

- ・ 苦情・要望に適正に対応し、解決するとともに、サービスの向上・業務の改善に役立てます。
- ・ 個人情報に配慮した公表を行います。
- ・ 利用者のニーズ・不満を情報として受信する方法を検討します。

（サービス評価）

- ・ 施設の課題を確認し、現状を理解した上で、改善できるところを検討します。
- ・ 課題となったものを一つずつ改善していくことで、サービスの向上に繋げていきます。

Ⅱ. 令和7年度事業計画

1. 有料老人ホーム オリーブ

特定施設入居者生活介護、介護予防入居者生活介護施設事業

利用者一人一人の『自分らしい生活』や『生きがいの持てる生活』とは、いったいどのような生活なのか。

利用者やその家族、そして職員が共に考え、実践することを通して喜びを共感してゆきたい。

また、それを支えてゆくために、毎日行っている基本的な介護を丁寧かつ確実に行っていき、その積み重ねによって、利用者が安心して身を任せてもらえるよう信頼関係と安全な施設サービスの提供に努めていきます。

◇ 感染防止対策

- ・ 施設内で起こりうる感染症に対して早期に対応できるよう予防、対策を周知していきます。
- ・ 職員の手洗い、マスク着用を徹底し、外部より感染源を持ち込まないために、面会者や業者への手指消毒等の協力をお願いしていきます。

- ・ 常日頃より感染防止に対する意識付けを行い、利用者・職員共に異常の早期発見に努め集団感染を起こすことのない様、指導及び情報提供・観察を行います。
- ・ 各感染症の流行時期に感染症防止対策マニュアルに沿って行っています。
- ・ 入居者と職員の健康管理を徹底します。
- ・ 疥癬予防の為、消毒、清掃を実施します。
- ・ インフルエンザや新型コロナウイルス、ノロウイルス等の感染症予防の為、換気、居室、廊下、トイレの清掃、消毒を行います。

◇ 事故防止検討

- ・ リスクマネジメントの重要性を理解し、職員が共通の認識を持ち事故防止に取り組みます。
- ・ 事故、ヒヤリハット報告を最大限活用しつつ事故要因の分析に努め、事故を未然に防ぐ具体的な方策を考え実施し有料老人ホームオリーブにおける介護、医療事故を防止し安全かつ適切に質の高い介護・医療の提供体制を確立できるよう努めます。
- ・ 利用者の状態を確認することで、日常での事故予防に向けたアセスメントを実施し、日々職員が事故を予測したケアの提供をして行きます。

◇ 身体拘束廃止

- ・ 身体拘束をすることなく、安全でその人らしい生活をして頂くために、どのような対応をすべきかを考え、一人一人に合った対応を考えていきます。
- ・ 可能な限り、自分らしい生活をして頂けるよう、身体拘束は行いません。しかし、万が一必要な場合には、行政機関並びにご家族との協議のうえで、実施書・報告書・経過記録を行い、身体拘束をしないケアを実施して行きます。
- ・ 身体拘束廃止に向け職員研修会を実施し、身体拘束を行わない状況をつくる介護行為の工夫や職員の介護倫理の向上に努めます。
- ・ サービス提供にあたって身体的、精神的な虐待が起きることのないよう、高齢者虐待防止に関する指針を定め、職員は指針に従ってサービスを提供して行きます。
- ・ 虐待等の発生の防止・早期発見に加え、虐待等が発生した場合にはその再発を確実に防止するための対策を検討するとともに、虐待防止に関する措置を適切に実施することを目的として虐待防止委員会を開催します。

◇ 美化、環境

- ・ 常に美化意識を持ち、清掃、整理、整頓を心がけ、利用者にとって快適な生活空間になるようにします。
- ・ 普段の業務の中で、無駄をなくし介護することによって、経費なども含めて節約を考えます。
- ・ 職員間での環境整備に対する認識を同一化するための働きかけを行います。（利用者にとっての生活をより快適にするための居室又は空間での清潔を第一とする認識をもつ。）
- ・ 居室やフロア等に季節感のあるものを飾ったり、行事等を取り入れることで一層生活感を感じて頂けるようにして行きます。
- ・ 事故多発場所や事故発生場所を確認し、再発防止に向け環境面での改善について検討して行きます。

◇ 苦情解決

- ・ ご家族へのアンケート結果を有効に活用し苦情に至る前にできる対応を実施して行きます。
- ・ 発生した苦情に対しては、早期解決に向けて、報告・調査・対応へとつなげて行きます。また、その記

録した貴重な情報はサービスの質向上のための検討材として活用します。

- ・ 提出された苦情や要望については、職員全員で考えて対応し、定期的に確認して行きます。

◇ 研修

- ・ 他職種と連携をとりながら職員会の場で、その時に必要で課題とされる研修を実施し、知識、認識力をより深いものにしていきます。
- ・ 研修での周知事項は、全員に伝えることが重要であり、毎日のミーティングの活用を考えていきます。
- ・ 介護に関わる知識や技術の向上、職員の質の向上の為、研修を行います。

◇ サービス評価

- ・ 利用者や家族に介護サービスに対する意向の調査し、意向に添えるサービスが行えるよう検討していきます。また、利用者が安心して生活していただけるよう、職員の質の向上と質の確保を目指していきます。

◇ レクリエーション

- ・ 利用者が主体となって行事が運営できるように、利用者の声を大切にし、行事の企画・運営をしていきます。

◇ 給食委員会

- ・ 厨房と給食に対する意見を交換し、それぞれの部署と連携をとります。

◇ 排泄

- ・ 排泄介助においても個々にあった快適な排泄介助を目指し、安心安全な排泄援助が行えるよう、統一した対応で常に清潔な環境を保ちます。
- ・ 統一した在庫管理を行い、整理整頓された環境にします。
- ・ 必要に応じて施設内研修を行います。

◇ 行事

季節感を楽しんでいただけるような行事を行いたいと思います。春夏秋冬それぞれの季節に咲く花や食べ物、また節分やお正月などの行事をその季節の食べ物や飾り付けで楽しんでいただけるようにします。また、感染状況を見ながら、外出においても利用者の意見を聞きながら、外の空気を味わって気分転換を図ってもらえるようにします。

○ 年間スケジュール

利用者の意向を伺い、楽しんで満足して頂けるようなものを企画して行きます。

1. 今年度目標

- ・ 入居者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を目指し、総合的に援助していくことを努めていきます。また、入居者一人一人に丁寧な言葉かけを行えるよう心がけていきます。
- ・ 職員に対して介護技術の向上、報告連絡相談の徹底、レクリエーションの充実を行っていきます。
- ・ 感染予防対策の徹底及び感染者発生時の対応力の強化に取り組んでいきます。

年間行事予定表

月	行事	月	行事
---	----	---	----

4 月	お花見ドライブ		1 0 月	運動会	
5 月	バラ鑑賞ドライブ		1 1 月	カラオケ大会	
6 月	お菓子づくり		1 2 月	クリスマス	
7 月	七夕		1 月	初詣	
8 月	夏祭り		2 月	節分	
9 月	敬老会		3 月	ひな祭り	

備考

- ・ 大西クリニック往診 月 1 回 水曜日
- ・ クリニック受診（随時）
- ・ 健康診断（年 2 回）
- ・ 避難訓練（年 2 回／5 月・11 月）
- ・ 感染拡大防止訓練（年 1 回/2 月）
- ・ 書道、カラオケ、レクリエーション、ビデオ・DVD 鑑賞 etc
- ・ 各体操（食前、リズム）
- ・ 各種委員会の開催
（1 回/月）
給食委員会 安全対策委員会 生活向上委員会
排泄褥瘡委員会 感染対策委員会
（3 回/月）
身体拘束委員会 生産性向上推進委員会
（6 回/月）
虐待防止委員会
- ・ 介護ミーティングの開催（月 1 回）

職員研修

- ・ 職員研修（月 1 回）
- ・ 外部研修（随時交代制）